

2009年度研究交流集会の開催（お知らせ）

本学会では、2003年度より、学会の大会ではなかなかとれない質疑・討論の時間を十分に確保（1報告が25分、質疑60分）して、会員の皆様による研究交流の場を設けてまいりました。この集会は大会に比べれば小規模ですが、企画担当理事が推薦した中堅・若手会員のなかから数名の方を招待し、じっくりと研究を深めることができるような熱い議論をかわして、参加された会員を知的に刺激しつつ会員間の親睦を深めていただくという趣旨で企画しています。各報告には、それぞれのテーマに造詣の深いコメンテータをお願ひしています。本年度の新しい試みとして、夕刻に全体討議の時間を設けました。集会の後には希望者による懇親会を計画しています。

本年度は、立命館大学（朱雀キャンパス）にて12月12日（土）に開催いたします。参加をご希望の皆様は、電子メールなどにて、「お名前、ご所属、連絡先のメールアドレスか電話番号かファクス番号、懇親会参加希望の有無」をそえて、企画担当理事の塚原までお申し込みください（連絡先は末尾にあります）。会場の都合により、お申し込みが多数の場合にはお断りすることもありますので、早めをお願いいたします（最終締切は12月7日）。

実施概要

日 時：2009年12月12日（土） 9時30分から18時00分

会 場：立命館大学 朱雀キャンパス 多目的室（大）

京都府京都市中京区西ノ京朱雀町1

JRまたは地下鉄 二条駅下車徒歩2分

付近の地図は http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_suzaku_j.html

時間表：

9:30～9:35 開会あいさつ

9:35～11:00 南部広孝（京都大学）

「中国高等教育システムの拡大——高等教育独学試験制度の役割を中心に」

コメンテータ：苑 復傑（放送大学）

11:00～12:25 井手弘人（長崎大学）

「韓国『連携専攻』カリキュラム台頭の意味——政策・実践・日本への示唆」

コメンテータ：佐野通夫（こども教育宝仙大学）

12:25～13:25 昼 食（各自）

13:25～14:50 吉田香奈（山口大学）

「アメリカにおける高等教育への資源配分と評価」

コメンテータ：田中秀明（一橋大学）

14:50～15:00 休 憩

15:00～16:25 渡邊あや（熊本大学）

「フィンランドにおける高等教育の『プライバタイゼーション』」

コメンテータ：木戸 裕（国立国会図書館）

16:25～16:35 休 憩

16:35～17:45 全体討議

「高等教育における比較研究の課題」

登壇者：井手弘人、南部広孝、吉田香奈、渡邊あや

コメンテータ：川嶋太津夫（神戸大学）

17:45～17:55 会長講評

18:00 閉 会

18:30～20:30 懇親会（希望者のみ、会費 5 千円程度を予定）

企画担当理事：塚原修一、鳥居 聖、羽田貴史

問合せ、申込先：tsukahar@nier.go.jp 塚原修一

電 話：03-6733-6970

ファクス：03-6733-6988